



とばのもののしりになろう！

とばっこ検定

(小学生向け郷土学習検定)

市では、鳥羽の子どもたちの郷土学習と郷土愛を育むため、海女や真珠、鳥羽城などの地域の歴史文化などの魅力を紹介した冊子「鳥羽歴史学習本『とばっこ探偵団』」を作成し、市内小学校の児童への配布など郷土学習を推進してきました。その代表的な取り組みとして鳥羽オリジナル郷土学習検定「とばっこ検定」について紹介します。

教育委員会生涯学習課 ☎ 251268

とばっこ検定

鳥羽の子どもたちの郷土学習の意欲向上や目標を持って学習に取り組んでもらうきっかけとして平成 30 年度から市内全小学校で「とばっこ検定」を開始しました。

平成 30 年度の検定は、4 年生を対象に「御木本幸吉と真珠」を学習分野として設定し、実施しました。児童は、いきいきと学習に取り組み、検定には見事に受検した児童全員が合格し、認定バッジがプレゼントされました。

今後は、5 年生を対象に「海女（今年度から開始）」、6 年生を対象に「鳥羽城と九鬼嘉隆（来年度から開始予定）」を出題分野として設定し、継続的に郷土学習に取り組んでいく予定です。

とばっこ検定を通じて鳥羽のまちを好きになり、次世代の鳥羽のまちを担う人材育成につながることを目指しています。



弘道小学校での検定の様子



検定問題



認定バッジ



ミキモト真珠島施設見学



郷土学習出前講座
(真珠色分け体験)



郷土学習出前講座
(標本を見せながら授業)

魅力に直接触れる 郷土学習出前講座や施設見学

鳥羽のまちには郷土学習の拠点となる施設や名所が数多くあります。

とばっこ検定では、机上の郷土学習だけではなく、検定までの事前学習で地域の魅力に直接触れる機会を作ります。

希望する学校に対して、講師を派遣して授業を行う郷土学習出前講座やミキモト真珠島への施設見学を行うなど知識とともに思い出に残る学習に取り組みました。

検定問題について

実際に子どもたちに出題している問題を紹介します。鳥羽歴史学習本「とばっこ探偵団」や問題集は市ホームページで公開しています。

問題例 1 御木本幸吉は、真珠養殖を成功させ真珠養殖を日本の輸出産業にまで発展させました。御木本幸吉は世界の人たちから何と呼ばれましたか？

①発明王 ②産業王 ③真珠王 ④養殖王

問題例 2 鳥羽市や志摩市は海女漁がさかんな地域です。鳥羽市や志摩市のある半島を何というのでしょうか。

①海女半島 ②伊勢半島 ③鳥羽半島 ④志摩半島

